

シームレスで高品質な防水塗膜を形成する 「オルタックスプレー」の地下防水工法。 地下構造物の諸条件にも柔軟な対応が可能です。



超速硬化型ウレタン塗膜防水「オルタックスプレー」は、地下防水に懸念されるさまざまな条件に柔軟に対応可能なスプレーシステムです。防水性に優れた塗膜と信頼性の高い技術によって、シームレスな防水層を形成します。

オルタックスプレー地下防水工法の特長

地下構造物の複雑な形状・条件に対応

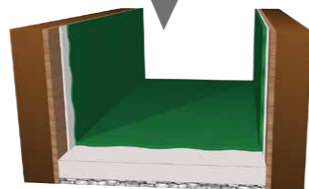
地下防水には、施工面の凹凸やセパレーター等の金具跡、不十分な乾燥、結露、埋戻しの際にかかる土圧など、特有で難しい条件があります。オルタックスプレーは、地下構造物における外防水の後やり・先やり工法どちらにも対応し、複雑な施工面でも継ぎ目のない防水層を形成します。

- ・耐久性に優れた高品質な塗膜を形成
- ・シームレスな防水層による確かな水密性
- ・専用スプレー機械で施工効率を向上

【先やり工法】

土留壁面に下貼り材を取付け、オルタックスプレーを施工します。防水下地づくりにかかる工期の短縮、作業空間の省スペース化を図れます。専用スプレー機械による吹付け塗布は、セパレーター等の貫通部周りの作業性にも優れた工法です。

土留壁にスプレー防水施工してから
躯体コンクリートを打設

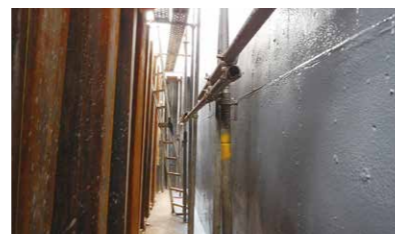
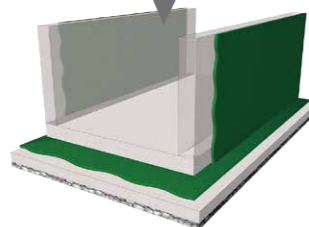


先やり工法施工例

【後やり工法】

先打ちの躯体に直接防水施工します。オルタックスプレーは躯体コンクリートとの接着性に優れ、短時間で強靱な塗膜を形成します。施工後は養生の必要がなく、保護材なしでの埋戻しが可能です。

打設された躯体の外側に
後からスプレー防水を施工



後やり工法施工例

耐久性の高い防水塗膜

オルタックスプレー工法で使用するポリウレタン樹脂は、強度と伸びのバランスに優れた防水材料です。専用スプレー機械にて防水材料を加熱・加圧することで硬化反応を早め、強靱な塗膜を短時間で形成することが可能です。



優れたクラック追従性

塗膜の下地追従性は10mm以上で、コンクリート構造物の動きに対して防水機能を維持します。

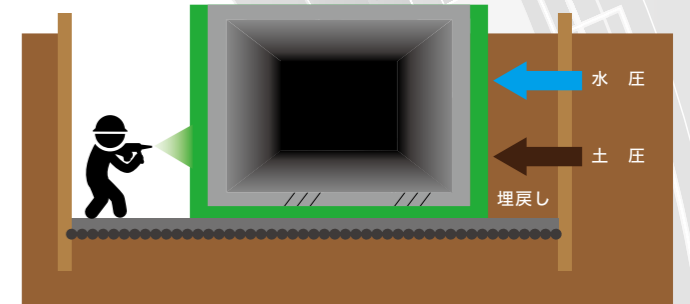


各種防水性、耐薬品性等の規格に適合し、耐久性に優れている事が実証されています。

オルタックスプレーFF
品質性能試験報告書

水密性に優れたシームレスな防水層を形成

構造物の地下防水材は、埋戻しの土砂などの転圧を受けても十分に耐える性能が必要です。オルタックスプレー地下防水工法は、原則として保護材なしで埋戻しが可能です。また、求められる水密性は、背面水圧が高圧であっても塗膜が破断しないことが重要になります。



後やり工法イメージ



防水性(水密性)

オルタックスプレーの塗膜は、高い水圧がかかる地下環境下でも優れた水密性を保持します。

オルタックスプレー 水密性試験結果

塗膜条件	均一な塗膜	塗膜の塗継ぎ部	下地亀裂発生部の塗膜	衝撃試験後の塗膜
水圧(0.98MPa)	水漏れなし	水漏れなし	水漏れなし	水漏れなし

試験方法：JIS A 1404 7.6透水試験に準じて試験体に24時間水圧を加え、スプレーウレタン裏面への水漏れを確認した。

専用スプレー機械による施工効率の向上

速硬化型のオルタックスプレー材料と専用スプレー機械の施工により、短時間で高品質な防水層を形成します。とくに大規模な工事では、従来のシート防水と比較して、大幅な工期短縮が可能です。

※中間杭やセパレーターまわりなど、複雑な形状の部位でもスプレー施工でき、面倒なシートの貼り合せなどがありません。

	オルタックスプレー工法	一般的なシート防水
日進量	100m ² /日	35m ² /日

※防水層施工にかかる1日当たりのおおよその施工量です。下地処理作業は含みません。施工条件等によって異なる場合があります。



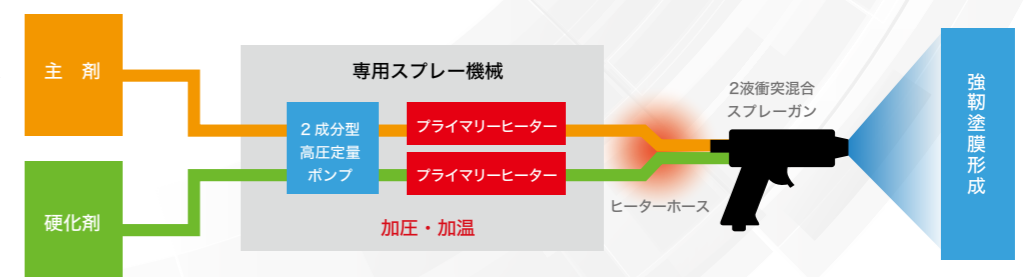
施工性

専用の機械システムで材料の温度・圧力・混合を管理し、常に安定した施工品質を確保します。スプレーガンによる吹付けは、複雑な部位にも短時間で均一な塗膜を形成するため、省力化とともに短工期・高品質の防水施工を実現します。



スプレー防水システム
概要イメージ

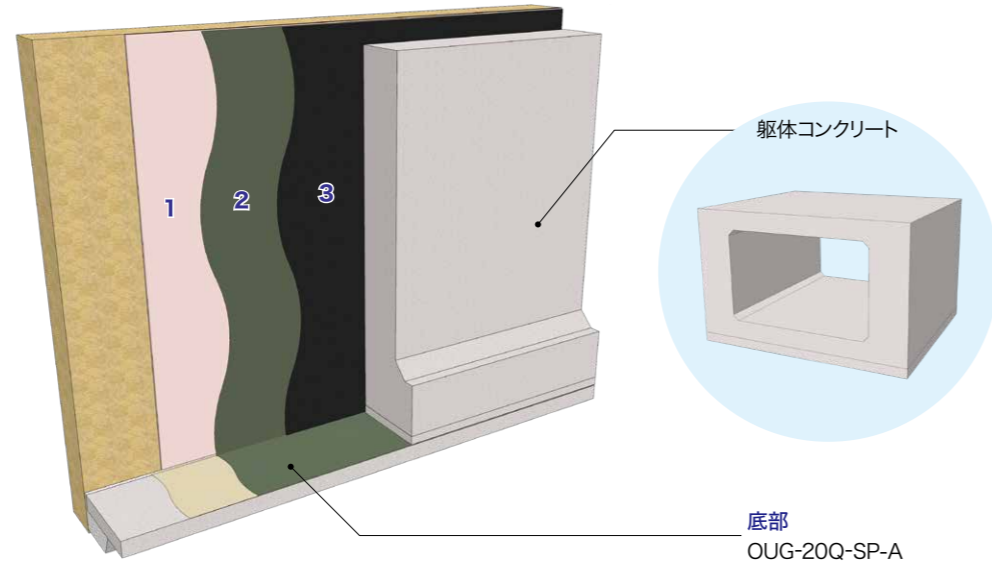
専用機による加圧・加温で材料をコントロールし、外気温や作業環境に左右されず、高品質な塗膜を常に均一に施工できます。



地下防水【先やり工法】

土留壁に絶縁用シートを下貼りし、スプレーを吹付ける工法です。
専用プライマーにより後打ちの躯体コンクリートと強固に接着し、背面水の横走りを防止します。

OUG-20Q-SP-B



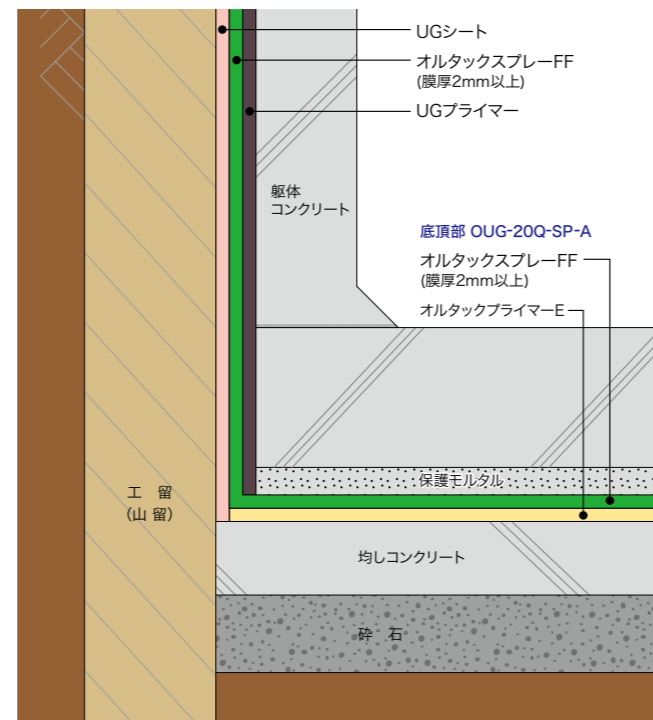
OUG-20Q-SP-B(先やり工法)

(単位:/m ²)		
1	UGシート	
2	オルタックスプレーFF (膜厚 2.0mm以上)	2.55kg
3	UGプライマー	0.15~0.2kg

※頂版部および底版部はOUG-20Q-SP-Aを適用



先やり工法イメージ図(標準仕様例)



※セパレーターは止水用セパレーターをご使用ください。
(推奨:(株)北斗金属工業 スクリュービット)

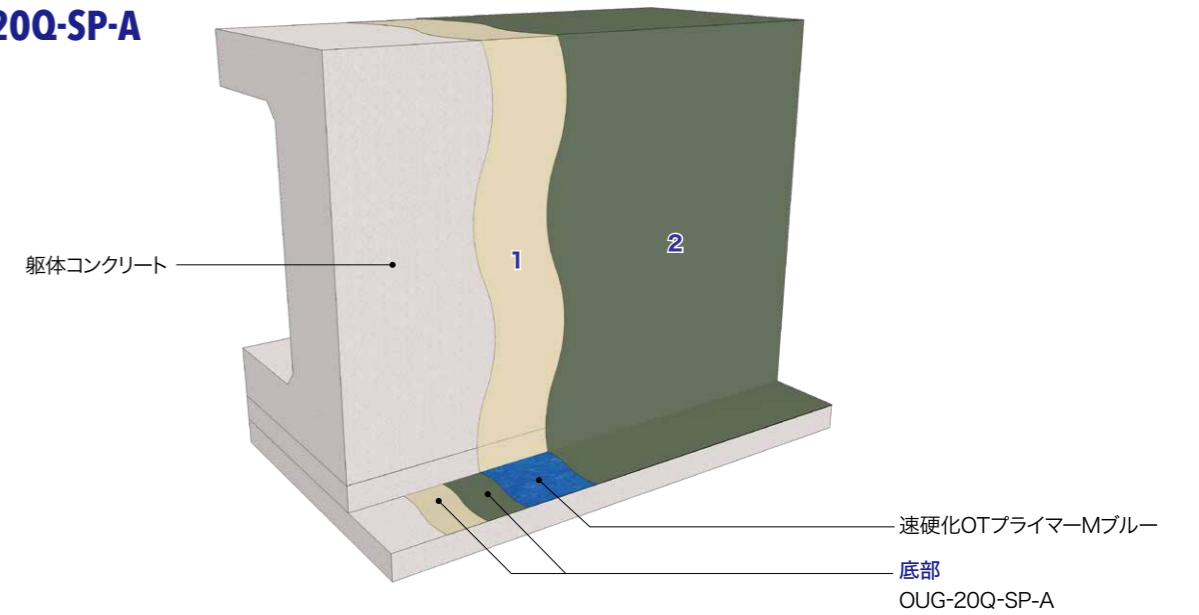
共通注意事項

- ・底版部均しコンクリート面へ地下水等が流入しないよう、側溝の取付け、排水などの配慮をしてください。
- ・土留壁の湧水が不織布(UGシート)を通過する場合、事前に湧水処理を行ってください。
- ・下地に不陸がある時は、補修を行ってください。また、突起物がある時は除去してください。
- ・溶剤を含む材料を密閉空間で使用する場合は、必ず換気を行ってください。
- ・コンクリートおよびモルタル下地には、オルタックプライマー-Eに代えてOTプライマー-QQを用いることもできます。

地下防水【後やり工法】

躯体コンクリート打設後に、スプレー防水の施工を行う工法です。
施工後の養生を必要とせず、保護材なしで埋戻しが可能です。

OUG-20Q-SP-A



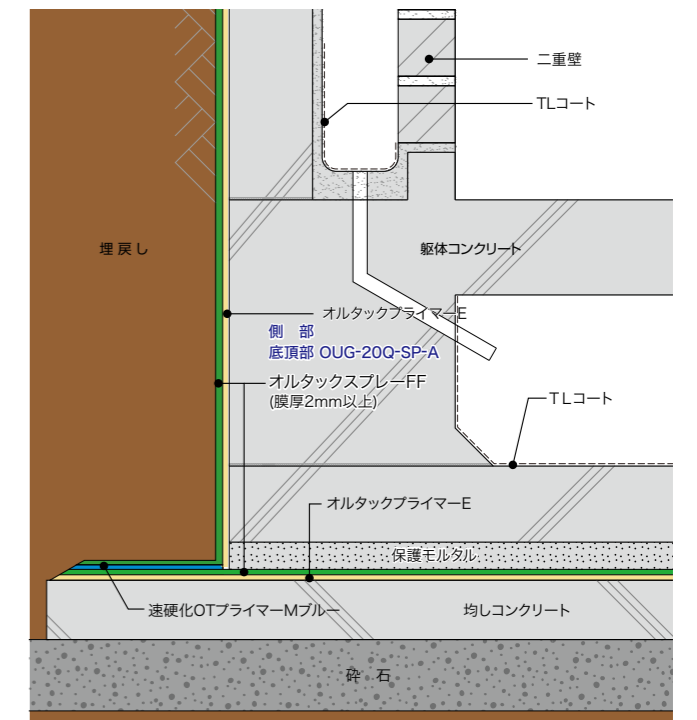
OUG-20Q-SP-A(後やり工法)

(単位:/m ²)		
1	オルタックプライマー-E	0.2kg
2	オルタックスプレーFF (膜厚 2.0mm以上)	2.55kg

※露出部はOTコートQQを塗布
※底部防水層の上には速硬化OTプライマー-Mブルーを塗布(0.1kg/m²)



後やり工法イメージ図(建築標準仕様例)



※TLコートについての詳細は別冊「TLコート」カタログをご覧ください。

防水仕様

防水仕様